



熊谷市指定無形民俗文化財

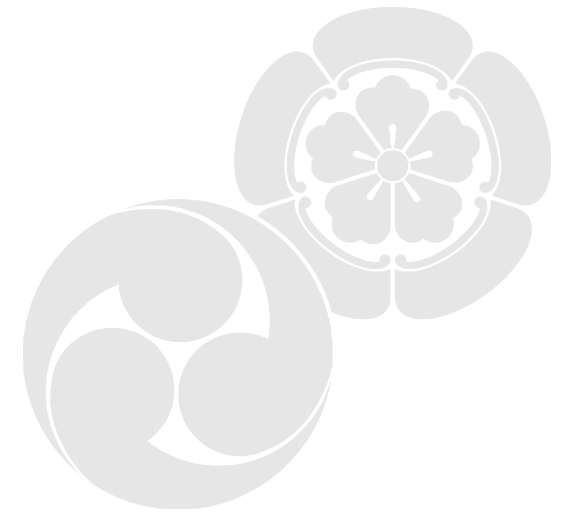
八坂神社大祭

熊谷うちわ祭

—— コロナ禍を乗り越え5年振りの通常実施 ——

公式記録集2024

Kumagaya Uchiwa-matsuri Annual Report 2024



熊谷市指定無形民俗文化財
八坂神社大祭
熊谷うちわ祭

—— コロナ禍を乗り越え5年振りの通常実施 ——

公式記録集 2024

継任開来

— 先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開くこと —

発刊にあたって

関東一の祇園と称される熊谷うちわ祭は、毎年70万人を超えるお客様をお迎えし、我々「熊谷人」が一年で一番熱く燃えるお祭りであります。絢爛豪華な12台の山車屋台の巡行や叩き合いが市内各所で繰り広げられる様は年々活気を増し繰り広げられております。

これらの量的な発展をする一方、質的充実がより一層図られなければならないと云われて久しくあります。

これは祭りという一過性の性質の強い即ち点としての事象を祭り文化としての線へと高めることでもあり、これらを連続させることにより将来的なあるべき面を構築するための指標とすることであると考えます。

また熊谷うちわ祭は平成24年に熊谷市より「無形民俗文化財」に指定されましたが、今後県・国の指定を目指していく上にも、この質的充実並びに正式記録の保存は必要不可欠なものであると思います。

本年は5年ぶりのフルスペックのお祭を実施させて頂きましたが、その中でも渡御の巡行路の見直し、初叩き合いのリニューアル、熱中症の予防と対策（お休み処の設置・救護所の増設）、子供浴衣配布事業の展開等何点か変更や新規事業を行ってまいりました。このような今後も発生すると思われる変更点がどのような変遷を辿るかを記録しておくことも一つ大事な事と思われます。

今回は子供浴衣配布事業の当選者の皆様方からも写真を頂戴し、この記録集に掲載させて頂き、又この本も贈呈させていただき運びとなりました。これは地域住民の皆様方の積極的参加を促すとともに子供の頃から祭りに親しんでもらうことで次世代の担い手を育む狙いで実施いたしました。

今回この記録集を刊行するにあたり、この事業の継続性確保と年番町の負担軽減を目的として第壱本町区の単独事業とはせずに、彌生町区顧問の栗原弘様を編集顧問としてお招きし、多大なるご協力を賜りここに改めて深く感謝の意を表する次第であります。

これからの熊谷うちわ祭の益々の発展を願いこの記録集を刊行いたします。

令和6年 年番町 第壱本町区
大総代 萩原直幸



令和5年 年番町 仲町区 大総代 八木橋宏貴氏より年番札を受け取る



令和6年 次年年番町 第壱本町区 大総代予定者 松本邦義氏へ年番札を送る

目次

● はじめに	03
● 八坂神社	06
● 各町紹介	08
● 2024事業	35
● うちわ祭の様子	45
● 祭りの資料	55



八坂神社 各町紹介

八坂神社 YASAKA SHRINE



宮司 茂木 治男	社老 松本 光弘	権禰宜 長谷川 洋美	雇員 宮本 悦男
石原・本石司 篠田 宣久	社老 藤間 憲一	権禰宜 茂木 貞佳	社会会長 鎌塚 修
	社老 大久保 和政		

熊谷市 観光協会会長 熊谷市長	小林 哲也	熊谷うちわ祭 協賛会会長	八木橋 宏貴	熊谷うちわ祭 協賛会副会長	重竹 淳一	熊谷うちわ祭 協賛会副会長	石山 洋一
-----------------------	-------	-----------------	--------	------------------	-------	------------------	-------



第壱本町区 DAICHIHONCHOU-KU



大総代 萩原直幸	総代 藤間太郎	総代 三輪武司	顧問 坂田文義
総代長 森田康志	総代 町田昌之	総代 柿沼伸幸	顧問 藤間憲一
副総代長 清水信哉	総代 谷田雅彦	総代 小谷野宏樹	顧問 石山洋一
副総代長 植松等樹	総代 加藤公教	総代 並木弘雅	組頭 柴山朋晃
副総代長 田邊昌史	総代 森田光春	総代 時田雄輔	副組頭 柴山義史
副総代長 山田廣和	総代 坂田浩一	相談役 田邊哲郎	第壱本町区 祇園会支部長 伊東利浩



第弐本町区 DAINIHONCHOU-KU



総代長 松本邦義	総代 内ヶ嶋 修	顧問 松本光弘	組頭 大塚康仁
副総代長 原島正明	総代 菊地陽一	顧問 今井徹雄	副組頭 三根一昌
副総代長 赤田尚久	総代 原口紀一郎	顧問 重竹淳一	副組頭 関口久雄
総代 秋山俊介	総代 松本峰司	顧問 棚澤正行	第弐本町区 祇園会支部長 小泉成司
総代 清水晃	総代 折原芳郎	相談役 石川雅雄	



筑波区 TSUKUBA-KU



総代長	植木昌彦	総代	岩下真久	総代	吉田光利	相談役	細川末廣
副総代長	清水保人	総代	大高宏	総代	黒田 濟	組頭	斉藤幸男
副総代長	市川眞吾	総代	藤田恭司	総代	三輪三男	副組頭	前田良介
総代 運行責任者	原田 勝	総代	栗原秀樹	総代	馬場 孝	副組頭	江森明広
総務担当	橋本光弘	総代	廣瀬成一	顧問	大久保和政	囃子保存会 会長	村林博行
会計担当	日向弘薫	総代	飯田一義	顧問	大谷公一		



銀座区 GINZA-KU



総代長 茂木 淳史	総代 栗原 秀一	総代 石川 邦男	相談役 野口 静男
副総代長 野澤 久夫	総代 森田 正男	総代 岩崎 喜彦	相談役 栗原 堯
総代 茂木 憲二	総代 高橋 伸幸	参与 高柳 淳之助	組頭 新島 章夫
総代 今野 哲也	総代 大久保 順弘	顧問 渋谷 良治	副組頭 塚越 達夫
総代 荻野 大輔	総代 澤田 英夫	相談役 平 辰雄	銀座区 祇園会支部長 石川 茂亨
総代 出井 計多	総代 田谷 英之	相談役 出井 哲司	



彌生町区 YAYOICHO-KU



総代長 廣瀬 功	総代 猿田 克彦 囃子担当	総代 小 潤 敬利 交通担当	副組頭 安藤 重次
副総代長 秋 元 稔	総代 長岡 正明 会計担当	顧問 上 林 寛 弥生文化会会長	鷹 安藤 正俊
副総代長 木村 諭 智	総代 田中 一 博 総務担当	顧問 栗原 弘	彌生町区 祇園会支部長 稲村 尚
総代 加藤 博	総代 上 林 浩太郎 総務担当	組頭 中村 英 司	



荒川区 ARAKAWA-KU



総代長	野口隆之	総代 運営委員会副委員長	野口幸雄	総代 運営委員	岡本賢太郎	総代 運営委員	小澤正道
副総代長 会計担当	市川節弥	総代 運営委員会副委員長	西村弘史	総代 運営委員	茂木鋭治	総代 運営委員	片岡福蔵
副総代長 巡行担当	笠原実	総代 運営委員会副委員長	岡部聡史	総代 運営委員	八須和芳	総代 運営委員	前島修身
副総代長 総務担当	滝沢幸司	総代 運営委員会監事	石川孔一	総代 運営委員	原邦夫	総代 運営委員	井桁滋雄
前年総代長	岡部太一	総代 運営委員会幹事	須藤俊幸	総代 運営委員	小浦慶一	総代 運営委員	飯島賢二
総代 運営委員会顧問	松本富男	総代 運営委員会幹事	石田直樹	総代 運営委員	江原英一	組頭	根岸和宏
総代 運営委員会相談役	中条育行	総代 運営委員	鎌塚勉	総代 運営委員	吉野寿和	副組頭	矢島秀和
総代 運営委員会相談役	岡本庄一郎	総代 運営委員	松村旭	総代 運営委員	平山俊夫	荒川区 祇園会支部長	吉田雄介
総代 運営委員会委員長	富田満	総代 運営委員	岡部俊之	総代 運営委員	広沢勇		



伊勢町区 ISECHO-KU



総代長	山屋 貴裕	総会	代計	松本 尚	総庶務	代務	高橋 光江	相談役	高橋 宣之
副総代長	黒澤 聖二	総会	代計	井田 康太	顧問	松浦 紀一	組頭	里見 正一	
副総代長	大塚 康晃	総会	代計	正木 慎一郎	直前総代長	米澤 利之	副組頭	片岡 達雄	
総総務	代務	保坂 正浩	総交代通	前田 晃一	相談役	多田 昌司	伊勢町区 祇園会支部長	高橋 秀貴	
総総務	代務	中村 則孝	総交代通	松田 成弘	相談役	田本 松男			
総総務	代務	吉野 文一	総交代通	青木 章吉	相談役	小山 育弘			



KAMAKURA-KU 鎌倉区



総代長 長尾 昌義	総代 大澤 伸一郎	顧問 富岡 清	組頭 内田 正純
副総代長 小林 健郎	総代 中島 慎介	顧問 大澤 孝至	副組頭 大埜 泰孝
副総代長 森 哲也	総代 松本 節子	顧問 中島 正義	鎌倉区 祇園会支部長 武田 侑也
総代 富岡 伸夫	総代 飯田 英規	相談役 岩崎 研太郎	
総代 島田 富之	総代 新島 一英	相談役 林 賢治	



仲町区 NAKACHO-KU



総代長 田中 寿	総務担当 矢内 敦	総務担当 金井 秀郎	相談役 小林 孝至
副総代長 佐藤 克也	総務担当 柴崎 弘之	総務担当 岡島 栄吉	相談役 多胡 博幸
副総代長 雨宮 悟	総務担当 小林 拓朗	総務担当 長谷川 嘉宣	組頭 藤野 貴史
総務担当 四分一 佳孝	総務担当 富田 則之	総務担当 栗原 正治	副組頭 海澤 佳史
総務担当 吉田 和彦	総務担当 高橋 信明	顧問 八木橋 宏貴	仲睦会長 代 裕考



SAKURACHO-KU 櫻町区



総代長 風間 伸二	総代 鴻巣 泰治	総代 飯田 栄一	櫻町区 睦会 会長 荒岡 淳也
副総代長 会計担当 小島 正泰	総代 新藤 利明	総代 松本 斎	組頭 岡崎 隆幸
総代 巡行担当 櫻井 俊明	総代 会計担当 山本 彰男	総代 荻山 清二	副組頭 岡崎 健
総代 巡行担当 田野 宏一	総代 宇野 賢司	総代 大川 輝	櫻町区 祇園会支部長 大川 健
総代 戸井田 厚志	総代 飯田 彰男	総代 村山 貞男	
総代 田中 良司	総代 渡邊 貞夫	櫻町会 会長 林 謙太郎	



HONGOKU-KU 本石区



総代長 金子典充

副総代長 田島明彦

総代
会計担当 岩崎貢士

総代
交通担当 折原功

総代
総務担当 森田武志

総代
渉外担当 川野辺大恭

総代
会所担当 西田善明

総代
会長 大川隆史

組頭 森真也

副組頭 風間純一

本石区
祇園会支部長 松井大



石原区 ISHIHARA-KU



総代長 湯本 正之	総代 小辻 大介	総代会 金井 恒訓	副組頭 鯨井 克彦
副総代 萩原 五郎	総代 水野 弘	総代会 藤倉 久典	若連睦会長 関根 基治
総代 蓮沼 政樹	総代 島崎 浩二	総代会 西田 光政	
総代 砂川 治彦	総代 手島 隆治	組頭 保科 幸正	



七月会 SHICHIGATSUKAI



第壹本町区	柴山朋晃	〃	前田大介	荒川区	根岸和宏	〃	海澤佳史
〃	柴山義史	〃	江森明広	〃	矢島秀和	〃	海澤隆太
第貳本町区	大塚康仁	〃	江森真樹	伊勢町区	里見正一	櫻町区	岡崎隆幸
〃	三根一昌	〃	江森正彦	〃	片岡達雄	〃	岡崎健
〃	三根涼太	銀座区	新島章夫	鎌倉区	内田正純	石原区	鯨井浩
〃	関口久雄	〃	塚越達夫	〃	内田喜士	〃	鯨井克彦
筑波区	斉藤幸男	彌生町区	中村英司	〃	大埜泰孝	〃	保科幸正
〃	斉藤正一	〃	安藤重次	仲町区	藤野貴史	本石区	森真也
〃	前田良介	〃	安藤正俊	〃	荒野慶佑	〃	風間純一

GIONKAI 祇園会



会 長 堀 川 晋 輔	会 計 守 谷 慎太郎	第1本町区 支部長	伊 東 利 浩	鎌倉区 支部長	武 田 侑 也
副 会 長 猿 田 武 彦	監 査 簀 瀬 悟	第2本町区 支部長	小 泉 成 司	本石区 支部長	松 井 大
副 会 長 川 村 勇 吾	監 査 高 橋 英 昭	銀座区 支部長	石 川 茂 亨	伊勢町区 支部長	高 橋 秀 貴
会 計 松 村 良 虎	書 記 栗 岡 秀 公	彌生町区 支部長	稲 村 尚	櫻町区 支部長	大 川 健
会 計 片 岡 明 美	書 記 沼 上 彰 宏	荒川区 支部長	吉 田 雄 介		

2024 事業

**甚平を
プレゼント!!**

熊谷うちわ祭 祭町内生地の

当日は
山串・屋台と
一緒に写真を
撮ってね!!

❖ 募集要項 ❖

対 象 熊谷市内在住の0～5歳児 150名様
※サイズ100のみ
※町区の指定は承れません。
※12ヶ町区のご協力をいただき、浴衣・手拭い生地で甚平を用意しております。

応募期間 6月17日(月)～7月5日(金)
※当選はメールにてご連絡いたします。

申込方法 右のQRコードから専用フォームにアクセスの上
ご応募ください。
※応募者多数の場合は抽選となります。予めご了承ください。

令和6年 熊谷うちわ祭 年番町 第壹本町区
公式スポンサーのご厚意により運営されております。






町内生地の子供用甚平
JINBEI





町内生地の子供用甚平
JINBEI







町内生地の子供用甚平
JINBEI





町内生地の子供用甚平
JINBEI





町内生地の子供用甚平
JINBEI





町内生地の子供用甚平
JINBEI



関東一の祇園、完全復活 20日から熊谷うちわ祭 見どころの巡行祭は再び日中に開催 熱中症予防で休憩所も初めて開設へ

熊谷うちわ祭、イベント、見どころ、熊谷市



熊谷うちわ祭のポスターアートに、文豪塚本直喜の顔も入る大賑わいの熊谷うちわ祭。熊谷市内



「関東一の祇園」として名高い八坂神社大祭「熊谷うちわ祭」が20～22日、熊谷市の中心市街地で行われる。昨年は夕方だった21日の巡行祭を昼間に戻すなど、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年と同じ実施形態が5年ぶりに完全復活。一方、楽しさを増す酷暑を踏まえ、熱中症対策の徹底など新たな取り組みも進める。今年の祭りを取り仕切る年番町は栗原市。トップの大総代は、市内で税理士事務所を営む萩原直幸さん（67）が務める。

うちわ祭は、熊谷市鎌倉町の慶弔神社に合祀（ごうし）された八坂神社の祭礼。江戸時代中期の寛延年間（1748～51年）に町内全体の祭りとなり、現在につながる形ができた。「うちわ祭」の名称は、明治35（1902）年ごろから料亭「皇州楼」の主人がうちわを配ったことに由来すると伝わる。例年、約75万人の観光客でにぎわう。

コロナ下では、20年と21年が神事のみを実施した。22年は規模を縮小して再開。昨年はほぼ通常開催されたものの、祭りの見どころとなっている巡行祭は時間を短縮して午後5時半から行った。

萩原さんは大役で、「皆さんの指導があって務めさせていただける。たいへん光栄」と引き継ぐ。皇州楼を開いたのは、萩原さんの曾祖父で7代目の半次郎。祭りの名前が生まれるきっかけをつくらした先人の子孫が、ウイルス禍を経て再出発する節目の祭礼に新たな歴史を刻む。

昨年はコロナの感染症拡大の位置付けが5歳に移行して間もないことや、熱中症対策もあって巡行祭を夕方からにした。今年は従来の午後1時に開始。同6時から、たたき合いを催す。萩原さんは「タイトな日程ではなく、暑もうちわ祭らしい日をこれまでのようにゆっくり行いたかった」と説明する。

ただ、かつての姿に回帰するだけではない。熱中症を予防するため、扇風機などを置き、冷水を提供する複数の休憩所を21、22日に初めて開設。救護所も2カ所に増やし、22日夜には熊谷市消防本部の救急救命士に待機してもらった。以前はなかった独自の警備計画を作成。警察と連携して、運営側も警備計画を担うことになった。

祭りでは、市内12町区が山車や屋台を巡行する。うち、8カ町が毎年交代で祭礼を統括する年番制が戦後の1957年に確立。古くから街の中心部だった栗原町は、先頭に立つ「魁（さきがけ）」の町区となっている。宮司からは今年の精神を体現する言葉として、「慶往開来（けいおうかいらい）」が授けられた。「先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開く」との意味だ。萩原さんは「あるべき姿に戻しつつもリニューアルしなければ、持続可能な祭りにはならない」と責任感を口にする。

うちわ祭が大好きで、小学校5年生から高校生までの「神武おやし金」に所属。大学進学で熊谷を離れたが、30歳の時に帰郷した。2003年に第9町区の大総代の一員となり、再び関わり始めたという。萩原さんは「まちのエネルギーは、それぞれの町内自慢から来る。その自慢が表れるうちわ祭は、まち全体にとってパワーの源」と熊谷っ子の気概を示した。

埼玉新聞(WEB) 2024年7月18日付

朝日新聞デジタル 記事

熊谷うちわ祭が開幕 巡行祭は昼間に 熱中症対策も

猪瀬明博 2024年7月21日 11時00分



熊谷うちわ祭の開幕を告げる朝日新聞の市民が参加した。2024年7月21日午後3時2分、埼玉県熊谷市。猪瀬明博撮影



「暑い街」として知られる 埼玉県 熊谷市の一大イベント「熊谷うちわ祭（まつり）」が20日、幕を開けた。夜には山車・屋台全12基が熊谷駅前に勢ぞろいする「初叩（たたき）合い」があり、暑気払いを盛り上げた。

今年は日程や規模をコロナ禍前に戻した。国道17号を歩行者天国にして実施する巡行祭は、昨年までの夕方の開催から例年通りの昼間（午後1時～3時半）に戻すなどした。

今年から 熱中症 への対策も充実させた。涼んだり、水分補給 したりできる休憩所を3カ所新設するほか、昨年は1カ所だった救護所を2カ所に増やした。

最終日の22日午後8時からでは全基による「曳（ひ）っ合（かわ）せ叩き合い」がある。市役所通りと星川通りの交差点「お祭り広場」で最後の叩き合い、フィナーレを迎える。（猪瀬明博）

朝日新聞デジタル 2024年7月21日付



新日本風土記 NHK BS 2024.9.23, 9.24放映

夏の風物詩フィナーレ 「関東一の祇園」熊谷うちわ祭 コロナ禍前と同じ実施形態で完全復活 高温対策で休憩所設置 費用やスペース増設には課題も

熊谷うちわ祭、イベント、見どころ、熊谷市



初めて設けられた休憩所で涼む熊谷うちわ祭の会場。21日、熊谷市内



日が続くと、12カ町の山車と屋台がお祭り広場周辺に集結。最後のたたき合いに臨んだ。ステージでは、祭りを取り仕切る年番町の交代式に相当する「年番送り」を実施。今年の年番町を務めた第9町区の大総代から、来年度の年番町に引き継ぐ大総代に就任する松本邦義さん（59）に「年番丸」が引き継がれた。

■休憩所設置、暑さ対策

熊谷市の中心部で真夏に行われる「熊谷うちわ祭」は、5年ぶりにコロナ禍前と同じ実施形態が完全復活した。主催者側が力を注いだのが、厳しい暑さで知られる熊谷にあって、年を追うごとに危険性が増す高温対策。会場内では初めて、祭りの見物に訪れた観光客らが涼を取れる休憩所「お休み処（どころ）」が設けられた。

休憩所は昼間に巡行祭を実施した2日目の21日と、最終日の22日に設置された。国道17号に面したコミュニティひろばや、行宮が置かれるお祭り広場がある「星川シンボルロード」など計5カ所に開設。直射日光を遮るテントやあずまや内には、ミスト付き扇風機と冷水器を置いたりした。

今年の祭りを統括する年番町を務めた第9町区の大総代、萩原直幸さん（67）は「熱中症予防は大切だが、具体策はあまり行われていなかった。今までにない発想で取り組んだ」と説明する。

熊谷では20～22日の祭り期間中、3日間とも最高気温が35度を超える猛暑日を記録。休憩所は多くの人々に利用された。久々に訪れた市内の40代男性は、「良い取り組み。こういう場所があると助かりますね」と歓迎する。

熱中症などの体調不良を訴えた人に対応する救護所は、これまでよりも1カ所増やし、2カ所とした。以前から看護婦は派遣してもらっていたが、今年は初めてエアコンや冷蔵庫、ベッドを備えたコンテナハウスも用意。また、祭りのクライマックスとなる22日夜には、熊谷市消防本部の救急救命士が待機した。

それでもなお、対策が十分だったとは言えない。3世代で21日に来場し、休憩所を使った市内の女性（36）は「どこにあるのか探すのが大変だった。もっとたくさんつくってほしい」と要望する。

ところが、主催者側が新たに捻出した予算は100万円を超え、これ以上の負担増は難しいという。休憩所を設けるにはスペースの確保もしなければならず、露店商との折衝も必要だ。萩原さんは「明らかにあった課題を踏まえ、改善していければ。行政に支援などを働きかけることも検討したい」と語った。

埼玉新聞(WEB) 2024年7月23日付

祭の様子

7月20日



7月20日



7月20日



7月21日



7月21日



7月21日



7月22日



7月22日



7月22日



祭りの資料

令和6年八坂神社大祭熊谷うちわ祭年番町
第壹本町区大総代 萩原直幸

『魁としての矜持を抱いて』

令和2年から蔓延したコロナ禍は2年間の神事のみ開催、その後の2年間はコンパクト化縮小化された形での開催がなされてきました。この4年間の年番町の皆様方の並々ならぬご苦労ご努力には改めて感謝と敬意を申し上げます。

このような状況下、令和6年・年番町第壹本町区は魁を担っている町区として、この熊谷うちわ祭をどのように企画運営していくのか、熊谷市民の注目を集めていると自覚しております。

そこで、大きな方針として本年はコロナ禍前の熊谷うちわ祭のスタイルに戻すことを前提に企画運営させて頂きます。熊谷の活力の源と言われている熊谷うちわ祭を4年間のブランクをはねのけて完全復活させていく決意のもと第壹本町区一丸となって邁進したいと思います。

しかし、それは5年前の形をそのまま復活させるものであってはならないと考えております。魁としての年番に相応しい形での完全復活を目指していきたいと思っております。5年前の形での熊谷うちわ祭には数々の要解決事項が内蔵されていると思います。これらを1つ1つ丁寧に解決し、最低でも今後8年間無事故で盛大な熊谷うちわ祭が持続可能な形で開催できる形を示していきたいと思っております。

『継往開来』（先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開く事）の精神のもと下記の重点項目を解決し、皆様方とともに明るく楽しい熊谷うちわ祭の実現に努めたいと思っております。

皆様方のご協力とお力添えを衷心よりお願い申し上げます。

重点事項

熱中症予防と対策の徹底

雑踏警備の徹底

持続可能なうちわ祭りの運営方法の構築

令和6年 八坂神社大祭 熊谷うちわ祭

【実施概要】（案）

1 行事について

- ① 渡御祭
- ② 初叩き合い
- ③ 巡行祭（21日 国道17号）
- ④ 曳合せ叩き合い
- ⑤ 年番送り（22日 お祭り広場）
- ⑥ 還御祭

2 事業について

- ① 公式スポンサー制度の継続
- ② うちわ祭本部と協賛会事務局の連携と運営の確立
- ③ うちわ祭ホームページの拡充
- ④ 年番会議資料の電子化（メール・QRコード）
- ⑤ 年番資料の保存・町内資料の保存（役員名簿・決算資料・写真4枚程度）
- ⑥ G I S 山車屋台位置情報の実施
- ⑦ 熱中症予防
- ⑧ 熱中症対策
- ⑨ うちわ祭大学、安全大会

3 行政・警察との連携事業について

- ① 路線バスによるパーク＆ライドの実施
- ② 雑踏警備・交通規制等による徹底した熊谷うちわ祭り
- ③ 広報PR等の実施

4 市民参加型企画について

- ① 町内浴衣子供版配布
- ② 軒花の展開
- ③ お囃子会卒業生のネットワーク化

★ 重点事項

- ① 熱中症予防と対策の徹底
- ② 雑踏警備の徹底
- ③ 持続可能な熊谷うちわ祭りの運営方法の構築

熱中症予防対策事業として お休み処・救護所設置

熱中症予防事業＜星川お休み処＞

① 事業内容
熱中症予防を目的として、星川広場に「うちわ祭りお休み処」を設置し、冷水の提供やミスト等により涼を取れるようにする。

② 期間
7/21 13:00～21:00 7/22 13:00～21:00

③ 設置場所

星川広場 3カ所



市川建設様前

ホシカワカフェ様前

花松様前

④ 設置設備

1. テント 3.6m×5.4m 約10畳（花松様前） 3.6×3.6約8畳（市川建設前）
2. のぼり旗 「うちわ祭りお休み処」（各箇所2基）
3. 冷水機（市川建設様前・ホシカワカフェ様前）（紙コップ 500個/日 2日間 3カ所 3000個）
ウォーターサーバー1台（花松様前）（12L×12本）
4. ミスト（市川建設様前・ホシカワカフェ様前 各カ所1台）
工業扇（花松様前2台）



熱中症予防事業＜巡行祭＞

- ① 巡行祭隊列参加者に対して
- ・対象 約40名（先頭の横断幕から、神職の方々、大能代、協賛会、議員、来賓
※H27年度参加、年齢役職除く）
 - ・対応 飲料水又はスポーツドリンクを配布します。
 - ・配布方法 4カ所にて配布します。（大凡30分ごとの想定です）
 - ① 八木橋前付近（巡行祭出発前） ② イオン橋付近
 - ③ さいしん前付近 ④ 行宮付近

- ② 各町のお祭り関係者に対して
- ・各町内での対策を依頼します。
 - ・「熱中症対策キット」の配布します。



- ③ 観客に対して
- ・星川広場「うちわ祭りお休み処」の案内をします。（HPにて）
 - ・救護所の案内をします。（HPにて）
 - ・さいしん様西側近付
 - デジタルミスト設置
のぼり旗 2基
 - ・りそな様駐車場
テント2K×3K設置
ミスト扇風機設置
のぼり旗 2基
 - ・コミュニティ広場
テント2K×3K 2張設置（コミュニティ広場予算）
工業扇 4台設置
のぼり旗 2基

【利用人数】

約960人/日

花松前ウォーターサーバーより試算（8タンクを5hで消費）

$$12L \times 8 \text{タンク} = 96L \quad (96000cc)$$

$$96000cc \div 160cc \quad (1杯) = 600杯$$

$$600杯 \div 5h = 120杯$$

$$(120杯 / 1h) \times (\text{稼働時間} 8h) = 960杯 \quad (人)$$

【その他】

- ① 利用人数は、1日500人（1h60人）を想定していたため、約2倍の利用者があったとなる。
- ② 市川建設前にて電源トラブルがあり、一定時間休止してしまった。（冷水機は常温）原因は、仮説だが露天商が電源を使用してしまったため、容量オーバーとなりブレーカーが落ちてしまった。

【巡行祭隊列への提供】

八木橋前、本塚経営前、さいしん前、コミュニティ広場前にてアクエリアス（パウチ）を配布。

【各町への対策】

熱中症対策キットの配布



お休み処
設置状況



星川お休み処 ① 花松様前



星川お休み処 ② ホシカワカフェ様前



星川お休み処 ③ 市川建設様前



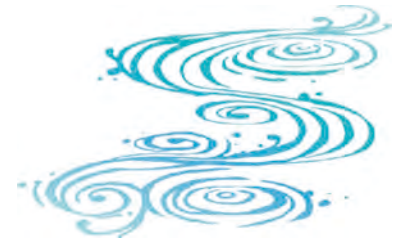
巡行祭お休み処 ① さいしん様前



巡行祭お休み処 ② りそな銀行様前



巡行祭お休み処 ② コミュニティ広場



令和6年 八坂神社大祭 熊谷うちわ祭 【諸会議・行事日程表】

令和6年 年番町 第壹本町區 大総代
萩原 直幸

月	日	曜	時 間	会議及び行事	場 所	摘 要
2	21	水	午後 4:00	大総代就任奉告祭	八坂神社	関係町内のみ
3	13	水	午後 3:00	総代長懇談会	熊谷商工会館3-3	関係町内のみ
4	17	水	午後 2:00	総代長会議	熊谷商工会館大ホール	関係町内のみ
5	15	水	午後 2:00	交通規制打合会	熊谷商工会館大ホール	全町関係者
			午後 4:00	踏切通過に関する打合会		関係町内のみ
	29	水	午後 2:00	うちわ祭研究会 / うちわ祭大学	熊谷商工会館大ホール	全町関係者
			午後 4:00	露天商打合せ会		関係者のみ
6	12	水	午後 2:00	予算審議会	熊谷商工会館大ホール	全町関係者
			午後 3:00	公式スポンサー会議		関係者のみ
	22	土	午後 6:00	初 集 会	スポーツホテル パークウイング	全町関係者
7	3	水	午後 2:00	全町最終打合会	熊谷商工会館大ホール	関係者のみ
				うちわ祭安全大会		山車屋台運行責任者 及び関係者
	19	金	午後 9:00	遷霊祭	八坂神社	年番町のみ
	20	土	午前 6:00	渡御発興祭	八坂神社	総代は祢着用
			午前11:00	渡御着興祭	行 宮	総代は祢着用
	21	日		会所巡拝	各町区会所	総代は祢着用
				巡 行 祭(お宮参り)	国道17号	
	22	月	午前 9:00	行 宮 祭	行 宮	総代は祢着用
				還御発興祭	行 宮	総代は祢着用
				還御着興祭	八坂神社	総代は祢着用
8	26	金	午後 6:00	直 会	スポーツホテル パークウイング	全町関係者
	28	日	未定	大山代参	1泊	大山阿夫利神社
	29	月	未定	〃		
	28	水	午後 12:45	監査会・決算報告会	熊谷商工会館 2-1	関係者のみ
			午後 1:30	全町反省会	商工会館大ホール	全町関係者

*8月初旬 組頭反省会



2月21日 大総代就任奉告祭



4月21日 京都公式参拝



5月15日 埼玉県知事を表敬訪問



7月26日 直会



6月22日 初集会



7月28日 大山参詣

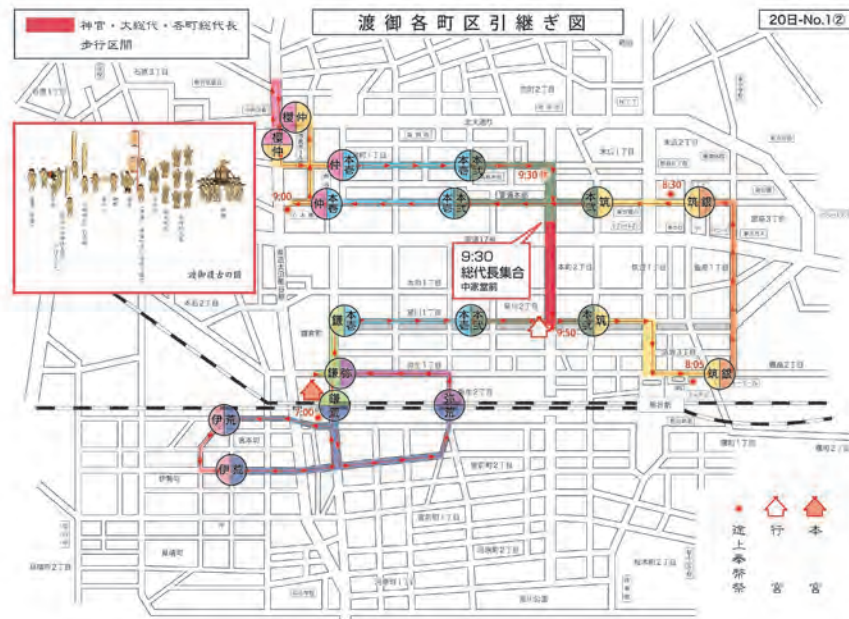
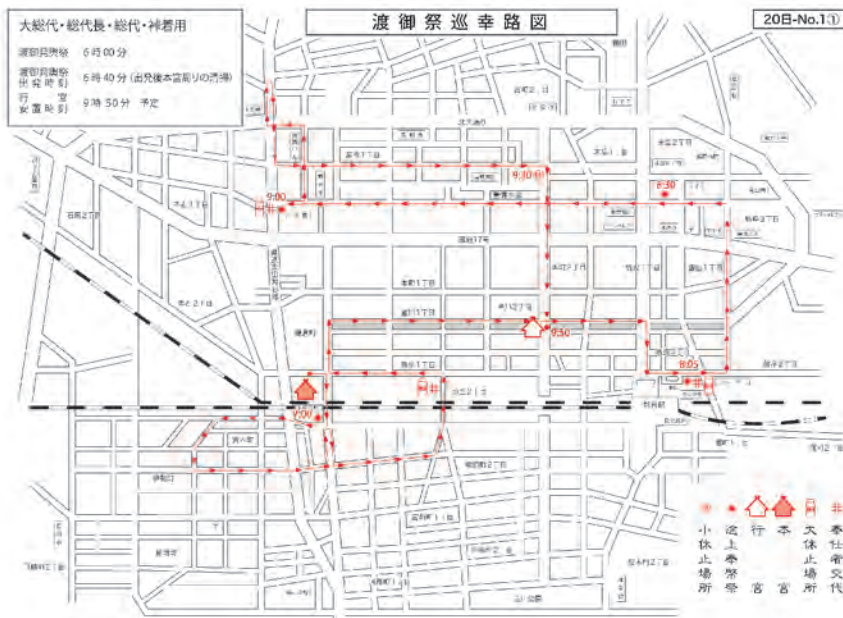
八坂神社大祭 熊谷・うちわ祭

御神輿・山車・屋台・巡幸(行)巡路図

- P2 各町会所及び山車・屋台定位図
- P3 20日 No.1 ①渡御祭巡幸路図
- P4 ②渡御各町区引継ぎ図
- P5 20日 No.2 夜 駅北口広場初叩かい
- P6 ①駅通り進入前星川特機図
- P7 ②駅通り進入順列図
- P8 20日 No.3 夜 駅北口広場初叩かい
- P9 ③駅北口広場 山車・屋台定位図
- P10 ④初叩かい終了後～解散
- P11 21日 No.1 巡行祭 巡路図
- P12 21日 No.2 巡行祭 宮参り
- P13 21日 No.3 巡行祭 宮参り(行宮)
- P14 22日 No.1 夜 全町山車・屋台と合せ叩かい図
- P15 22日 No.2 夜 市役所入口文楽点山車・屋台配列図
- P16 22日 No.3 夜 お祭り広場 進入前山車・屋台特機位置図
- P17 22日 No.4 夜 お祭り広場 地味子合わせ
- P18 22日 No.5 夜 お祭り広場 山車・屋台解散時帰路順序図
- P19 23日 渡御祭巡幸路図

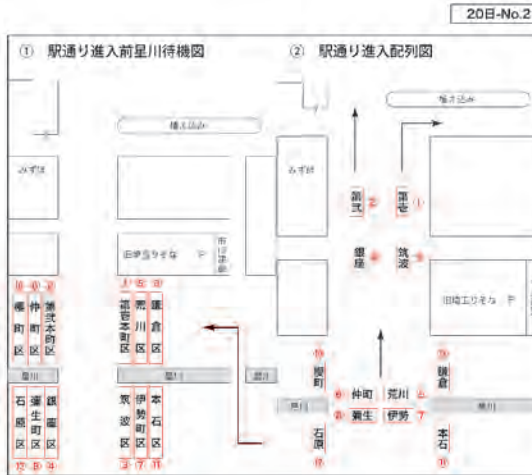
令和六年 年番町 第壹本町区

無断転載禁止



夜 駅北口広場初叩合い 交通規制時間 18:00～20:00

- 18時25分 星川通り両側に集合 (図①)
- 18時30分 集合場所から交差点に進入開始 (山車は人形を上げる)
- 18時40分 4町ずつ駅北口広場進入 (図②)
- 19時00分 定位車へ駅舎を背に両向き (図③)
- 19時20分 初叩き合い終了後町ずつ分かれて叩き合い (筑波二丁目交差点・みずほ銀行前)
- 19時40分 全町解散

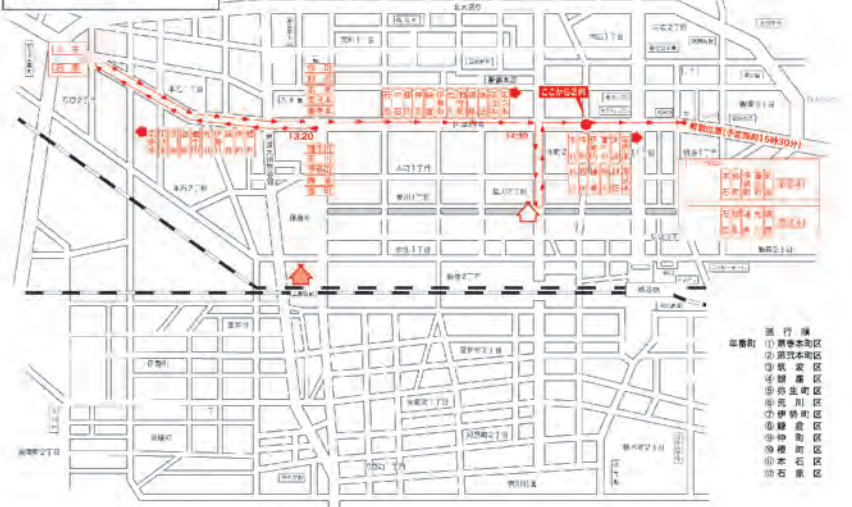


【初叩合いスケジュール】

時 間	駅北口広場・駅前通り	※20日午後より補助参加の参加
18:00	交通規制の準備 警備員集合	19:00 駅舎に背を向けて整列完了
18:15	警備員配置の配置	19:40 それぞれの位置より解散
18:30	山車・屋台等、駅前通りへ進入開始	20:00 交通規制の解除・交通規制看板の撤去

巡行祭 巡路図

大総代・総代長・総代・裨着用
鎌倉町交差点 13時00分集合
清 蔵 儀 13時10分～20分
巡行隊出発 13時20分
解散時刻 15時30分



- 巡 行 隊
年 齢 別
- ① 新橋本町区
 - ② 原武本町区
 - ③ 鉄 家 区
 - ④ 伊 勢 区
 - ⑤ 伊 勢 区
 - ⑥ 伊 勢 区
 - ⑦ 伊 勢 区
 - ⑧ 伊 勢 区
 - ⑨ 伊 勢 区
 - ⑩ 伊 勢 区
 - ⑪ 伊 勢 区
 - ⑫ 伊 勢 区

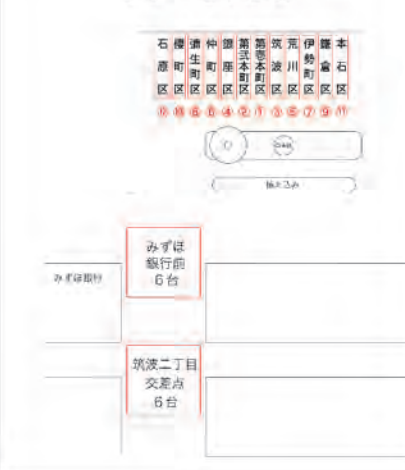
③ 駅北口広場 山車・屋台 positioning

【駅前進入へ駅前配置完了まで】



④ 初叩合い終了後～解散

【初叩き合い終了】 19:20
【 解 散 】 19:40



巡 行 祭 宮参り

- 12時40分 鎌倉町交差点集合 (10町)
- 13時05分 お供子停止
- 13時10分 清蔵儀の番
来賓、各町総代長、各町組頭は所定の位置にて参列
- 13時20分 谷田よりお菓子回贈
- 13時20分 鎌倉町交差点より出発、一列にて巡行
- 14時35分 宮参り (行宮) 山車は歩道橋通過後人形を上げる
宮参り後、17時下り車線を1列通行
本町二丁目交差点から2列通行
- 15時00分 銀座地区にて人形を上げて叩き合い
- 15時30分 解散



※天候等諸事情により変更もある

※参加団体の一部は、行宮地区から出発し、行宮地区を通過後、銀座地区で解散する。

巡行祭 宮参り(行宮)

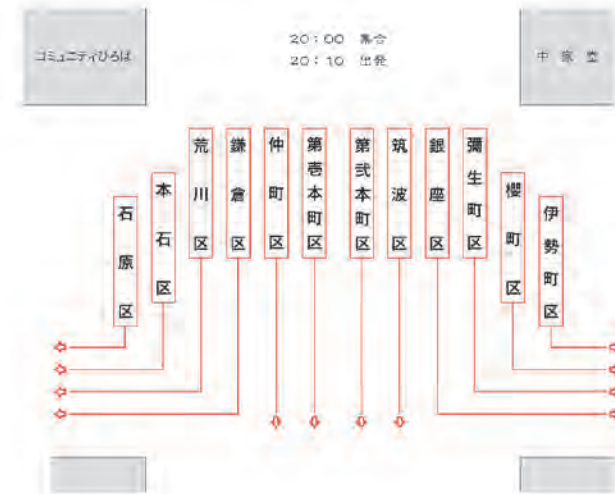
21日-No.3

1. 曳き廻しを巡り、各町区を紹介しながら行宮へ進む
2. 役員・関係者(参列)
3. 山車・屋台は行宮に正対し、各々装飾物をはずす
(女性を除く)
4. 一礼をする
5. 他区・他町区へ参列する。直り直す
6. 一礼をする
7. 山車・屋台は左回りに回廊し、17町に成る方向を北へ
市役所入口交差点まで曳き廻しで進む



夜 市役所入口交差点 山車・屋台配列図

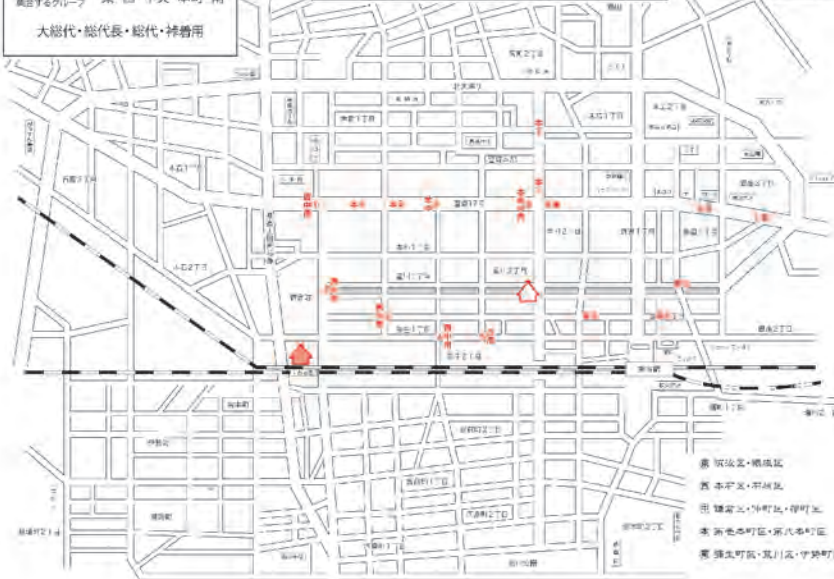
22日-No.2



お祭り会場へ
集合するルート
東・西・中央・本町・南
大総代・総代長・総代・神参り

夜 全町山車・屋台曳き合わせ叩合い図

22日-No.1



夜 お祭り広場進入前 山車・屋台待機位置図

22日-No.3

- 20時10分 【ステージ上にて】
・大総代挨拶
・観光協会会長挨拶
・協議会会長挨拶
- 【観覧席にて】
・知事挨拶
- 20時25分 各町お祭り広場へ進入する前の待機
位置に停車
- 20時30分 参拝前に、年寄町長連の合図のもと
進入開始
(山車は人形を上げる)
- 20時40分 定位置に配列完了
曳き合わせ叩合い
各町代表は山車・屋台に登壇

※全町行事時のお願い
①お祭りは、山車・屋台の上のお祭り場でのみ行うこと
②観覧席の責任において、屋根外以外は上らないこと(半端は必ず着用)
③煙火、飲酒、タバコ、花火等は禁止
④観覧席は基本的に半端着用のこと



夜 お祭り広場 地囃子合わせ

20時40分 年番町組御子木にて1回一斉にお囃子停止
年番町はお囃子を停める
囃子が終了と同時に御子木を停止
・囃い張り
・木盛り奉納
・年番送り
・大々
大々終了後、各町組代は山車屋台を待機

21時40分 紙面会支店長の会合にて兼き本町区の出囃子再開(2分程度)

①年番町兼き本町区が囃子に入ったら紙面会支店長の会合にて各町お囃子を合わせていく
②地囃子合わせは紙面会・保存会・仲達・石連連(会)

③ステージ南側(伊勢・本石・藤田・石原)を叩き始める

④南側4町が叩き始めたらステージ北側(筑波・本・筑波・仲町)が叩き始める

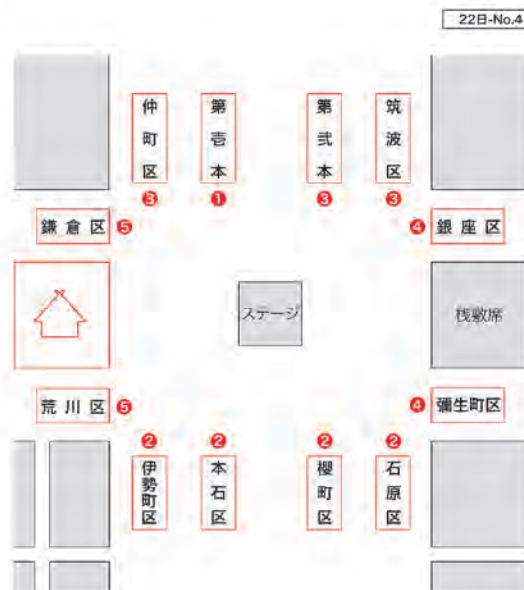
⑤北側4町が叩き始めたらステージ東側(伊勢・彌生)が叩き始める

⑥東側2町が叩き始めたらステージ西側(荒川・鎌倉)が叩き始める

年番町兼き本町区が切り込んで入ったら地囃子合わせ終了

各町組代のお囃子に戻る

21時40分 年番町組長の会合により解散開始



大総代・総代長・総代・神君用
還御時間 23時30分
還御時間 24時00分
出発時刻 1時15分 予定
還御時間

還御祭巡幸路図

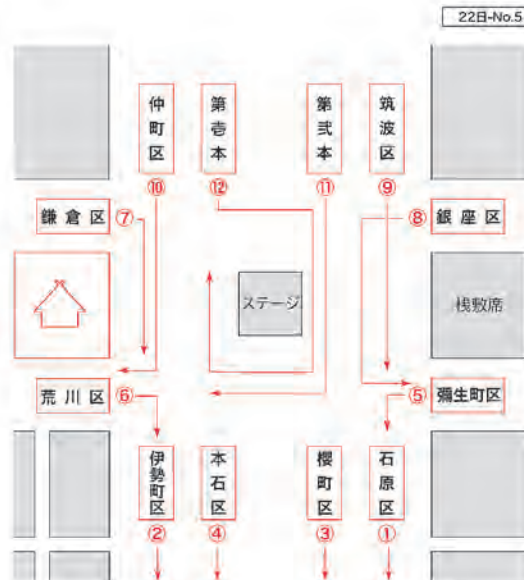
23日



夜 お祭り広場 山車・屋台 解散時帰路順序図

21時30分 解散開始
各町組代長の責任に於て長い綱を出す
御見物客の危険防止を十分に配慮の上
広場を出る。その後、各町を出し、年番町
は御子木に協力し、最後に出る。

21時45分 解散完了
①全町山車屋台、お祭り広場の解散
②各町組代長は町内2名を出し、年番町
と協力してお祭り広場を清掃する。



熊谷うちわ祭 公式記録集 2024 監修後記

熊谷うちわ祭は令和2年からの新型コロナウイルス禍を乗り越え、令和元年から5年振りに通常実施復活。お祭り関係者皆様のご協力により盛大にして無事故で開催されました。令和6年年番町第壱本町区萩原直幸大総代はじめ、年番役員関係皆様の一年間にわたる復活劇のご努力に敬意を申し上げます。また、新たな課題となる熱中症対策や若い世代、子どもの減少対策等に取り組みました。なかでも子どもの減少対策として12ヶ町区のご協力のもと町内生地の甚平をプレゼントして祭りに写真を撮って応募いただき公式記録集に掲載。祭りの思い出を作ってもらい、これをご縁に未来の祭り継承者に希望を込めました。ご応募いただいたお子様の写真は皆笑顔！笑顔！ご家族の写真もまた笑顔晴れ張れ！大変微笑ましく素敵な楽しい祭りの一枚に。また、12ヶ町区の通常実施復活記念の一枚にもなった各町区集合写真は各町区のカラーをも感じ、こちらも皆笑顔晴れやかな素敵な「祭り人」を実感できる通常実施復活年に相応しい記録となりました。ご協力いただきありがとうございました。

祭りは継承していくことが大切です。熊谷うちわ祭の魅力を次世代の子どもたちへ知ってもらい、祭りが繋ぐ力を末永く続く事を願わずにいられません。

結びに、郷土の誇り熊谷うちわ祭の益々の発展をお祈り申し上げます。

熊谷うちわ祭 274 年、
山車祭り 133 年。

熊谷うちわ祭 公式記録集 2024

監修 彌生町区 栗原 弘

2024 公式スポンサー



八坂神社大祭 熊谷うちわ祭 公式記録集2024

[Kumagaya Uchiwa-matsuri Annual report 2024]

発行日 令和6年12月25日 初版
発行 令和6年 年番町 第壱本町区
発行者 令和6年 年番町 第壱本町区 大総代 萩原直幸
監修 彌生町区 栗原 弘
写真提供 モリタフォト、栗原 弘
印刷 有限会社ビーンネット

◆本書の一部または全部を無断で複製、転載、転用、改変等の二次利用を固く禁じます。

